令和6年3月　第5号

農林水産物や食品の輸出にチャレンジしてみませんか？

農林水産省では農林水産物・食品の輸出に関する全般的な相談への窓口を設置しています。

- **農水省輸出・国際局輸出支援課（輸出相談窓口）　03－6744－7185**
  https://www.maff.go.jp/j/shokusan/hq/soudanmado.html

- **九州農政局経営・事業支援部輸出促進課　096－300－6381**
- **九州農政局宮崎県拠点地方参事官室輸出促進担当　0985－24－2365**

農林水産省が診断・サポートします。

2018年8月31日に農林水産物・食品の輸出を意欲的に取り組もうとする生産者・事業者等のサポートと連携を図る「GFPコミュニティサイト」を立ち上げました。
当該サイトに登録した事業者には、農林水産省が「輸出の可能性」を診断し、サポートを行います。

GFP 農林水産物・食品輸出プロジェクト

GFPとは、Global Farmers / Fishermen / Foresters /Food Manufacturers Projectの略称で、農林水産省が推進する日本の農林水産物・食品輸出プロジェクトのことです。
● 詳しくは、GFP事務局HP を !!（https://www. gfp1.maff.go.jp）

宮崎県拠点WEBサイトに、輸出に関するページを新設しました。

宮崎県拠点のトップページはこちら☞　クリック！

宮崎県内で輸出に取り組む優良な事例をご紹介しています。

宮崎県内関係機関のご案内

■宮崎県農業流通ブランド課
（農産物関係）
(TEL)0985-26-7126
■宮崎県国際・経済交流課
（加工食品関係）
(TEL)0985-26-7113
■JETRO宮崎
（貿易実務、商談、マッチング）
(TEL)0985-61-4260
■日本政策金融公庫宮崎支店
（農林水産物・食品輸出基盤強化資金等の融資）
(TEL)0985-29-6811

農林水産省九州農政局宮崎県拠点

宮崎県内における輸出の取組事例　（毎月更新）

『有機茶を世界へ』

小浦製茶

小浦製茶は、宮崎市高岡町一里山地区を中心に地域の生産者をリードし、生産販売だけでなく有機ＪＡＳで栽培する技術を確立するため「一里山有機会研究会」を立ち上げて栽培の勉強会を実施。

有機栽培及び有機ＪＡＳ認証の取得を推進し、県外茶商数社と取引し、主に海外輸出向け（アメリカ、ＥＵ等）として輸出拡大に取組む。

令和４年度より、農林水産省のＧＦＰグローバル産地づくり推進事業を活用し、海外食品展示会に出展。

今後は、高齢化が進む中で労働力不足を補うために機械化し共同作業の体制を整える。また、お茶の鮮度保持のために、宮崎に荷さばき場等の流通拠点を設置することを目指している。

有機栽培の茶園

有機荒茶

G7宮崎農業大臣会合メンバー視察

有機茶研修会

※詳しい輸出取組は宮崎県拠点ＷＥＢサイトをご覧ください。

宮崎県拠点地方参事官室
ＴＥＬ　０９８５－２４－２３６５（内線２７２）
本紙の記載内容等についてのご質問、農政に関すること、事業や制度への質問･ご意見等がございましたらお気軽にお問い合わせ下さい。
（〒880-0801　宮崎市老松2丁目3－17）